

令和7年度 第2回 藤沢市立第一中学校 学校運営協議会会議録

開催日時 令和7年7月4日（金）14時30分～16時40分
場 所 第一中学校 会議室1

<p>出席委員等</p>	<p>福岡 正仁（会長／第一中学校PTA会長） 市川 明美（副会長／第一中学校校長） 矢部 佳奈子（元PTA役員／元学校評議員） 尾崎 誠（湘南工科大学准教授／元学校評議員） 栃本 親（たまじやり応援団会議会長） 北井 淳一（前第一中学校校長） 田中 翼（湘南工科大学4年生） 橋本 幸直（本校学区管轄 藤沢市民センター長） 伴 瑞穂（元PTA役員／子ども家庭センター相談員） 太田 雄介（第一中学校1学年主任） 池田 太理（第一中学校2学年主任） 西方 潤平（第一中学校3学年主任） 野口 博史（第一中学校教頭）</p> <p>出席委員：13名（欠席委員：0名） 事務局：手島 淑子（第一中学校 教務主任） 傍聴人数：0名</p>
<p>次第</p>	<p>授業参観・見学 1. 開会 2. 自己紹介 3. 授業見学 4. 議題 （1）部活動地域展開についての現状と課題について （2）グループ別協議(意見交換) 5. その他 今年度の会議日程（予定） 6. 閉会</p>
<p>協議内容</p>	<p>3. 授業見学感想・最近の学校の様子 ・総合的な学習の授業見学をしてもらった。 ・大変落ち着いて授業を受けているのが印象的だった。学校が安定しているのがわかる。 ・部活動等様々な活動に熱心に取り組んでいる。 ・体育着登校など、今年の暑さを考え熱中症対策について対応をすすめている。 ・PC等を使っての授業があたりまえになり子どもたちに自然に身につけている。</p> <p>4. （1）部活動地域展開についての現状と課題について 部活動が抱える課題 ・部活動地域展開について、他の市町村での取り組み(神戸市、熊本市など)の紹介 ・昨年の藤沢市で実施した部活動アンケートの結果の紹介。 ・学校として、地域として何かできることがあるのではないか。 ・指導者の費用としても、願する以上必要な額を確保していかなければ人は確保できない。持続可能なものにしていかなければ難しい。 ・教員の働き方改革としても、時間を確保していけると部活動に向き合うことができる。 ・部活動は学校生活の一部でもあると感じる。生徒の成長の様子を見られるのではないか。 ・先生方には、仕事や家庭とのバランスをうまくとれるようになってほしい。</p>

協 議 内 容	<p>(2)グループ別協議共有</p> <p>グループ：昔と今の部活動の違い。先生方の仕事量が増えている。子どもがやりたいと思っている中でなかなか休みにしたり、先に帰ったりすることもできない。部活動の教育的効果は高いので、休みをとったり内容を吟味したりすることも必要。</p> <p>グループ：もっと先生の業務をサポートできるようにできないか。地域で担えることがあると思う。地域展開した際に指導方針で生徒が戸惑うことのないようにしたい。引率補助、拠点校方式での対応、トレーニングなど部活動の垣根を越えた対応などもアイデアとしてあるのではないかな。</p> <p>グループ：価値観の多様性、生徒のニーズも変わってきている。今後の変化の様子も見据え対応していかなければならない。</p> <p>委員：学校でできること、市や国単位で変えていかなければならないこともある。保護者の意識も変えていかなければならない。</p> <p>委員：地域の人材を活用しながら子どもに様々な経験を積ませたい。持続可能な内容を計画していけるとよいのではないかな。</p> <p>委員：先生方の負担を軽減できることは必要である。市のアンケートはあるが、現在の一中の保護者や生徒の考えを聞きながら今後考えていくことが必要であると感じる。</p> <p>委員：市民センターの地域活動団体が今後学校で活動していくこととリンクできることがあればぜひ活用して検討していけると良いのではないかな。</p> <p>5. その他 〈各学年の様子のご共有〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月に藤沢地域調べを予定している。地域を回り、地域を知って地域のことを語れる生徒になってほしい。 ・ 3年生は、部活動、その後進路に向けて取り組んでいく。行事にも集中して取り組んでいた。基本的な生活リズムを崩さず取り組めるように声かけをしていきたい。 <p>(その他) 配付資料の紹介等</p>
	以 上

次回開催予定 令和7年9月10日(水) 15時00分～
場 所 第一中学校 会議室1